

JENESYS 2.0

太平洋島嶼国からの青少年短期招聘（第五陣）

訪問日程：2013年9月25日（水）～10月6日（日）

1 プログラム概要

JENESYS2.0の一環として、太平洋島嶼国の青年等で構成される南太平洋大学（USP）から24名（学生23名、職員1名）が来日しました。参加者は都内と三重県で各所を視察し、伝統文化から最先端技術まで幅広い日本文化を体験しました。また、ホームステイや学校交流を通じて、今後につながる日本と島嶼国の友好的な関係を築くことができました。

2 コース概要

三重県を訪問し、ホームステイや学校交流を通して日本の習慣に触れました。また、外国人にも人気の高い忍者文化を生かした現地の観光資源開発を通じて、出身国での観光業に応用できるアイデアを得る機会を持ちました。組みひもづくり体験では、日本の伝統文化に触れました。都内視察では、太平洋島嶼国にとっても重要となるであろう防災や先端技術について学ぶと共に、秋葉原にて日本のポップカルチャーに触れ、多様な日本文化を体験しました。

3 日程

9月26日（木）～9月27日（金）

成田国際空港より入国後、来日オリエンテーション
東京都庁視察、江戸東京博物館視察
東京→三重に移動

9月28日（土）～10月1日（火）

津市及び伊勢市にてホームステイ、三重大学との交流、組みひもづくり体験、
伊賀市訪問、だんじり会館、忍者博物館、上野城視察

10月2日（水）～10月5日（土）

三重→東京に移動
秋葉原視察、パナソニックセンター視察、日本科学未来館視察、
池袋防災館視察、明治神宮拝観、サンシャインシティ視察
報告会（訪日成果・帰国後活動計画発表）

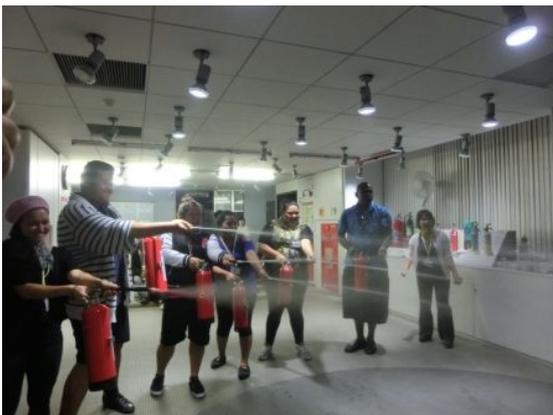
10月6日（日）

成田国際空港より出国

4 写真

	
<p>9月26日 来日オリエンテーション</p>	<p>9月26日 東京都庁視察</p>
<p>September 26th Arrival Orientation</p>	<p>September 26th Tokyo Metropolitan Government Building</p>
	
<p>9月27日 江戸東京博物館視察</p>	<p>9月28・29日 ホームステイ</p>
<p>September 27th Edo Tokyo Museum</p>	<p>September 28th・29th Home stay</p>
	
<p>9月30日 三重大学との交流</p>	<p>9月30日 組みひもづくり体験</p>
<p>September 30th Mie University</p>	<p>September 30th Kumihimo experience</p>

	
<p>10月1日 伊賀市訪問</p>	<p>10月1日 忍者博物館視察</p>
<p>October 1st Iga City Courtesy Visit</p>	<p>October 1st Ninja Museum</p>
	
<p>10月1日 上野城視察</p>	<p>10月2日 秋葉原視察</p>
<p>October 1st Ueno Castle</p>	<p>October 2nd Akihabara</p>
	
<p>10月3日 パナソニックセンター視察</p>	<p>10月3日 日本科学未来館視察</p>
<p>October 3rd Panasonic Center</p>	<p>October 3rd National Museum of Emerging Science and Innovation (Miraiikan)</p>

	
<p>10月4日 池袋防災館視察</p>	<p>10月5日 報告会</p>
<p>October 4th Ikebukuro Life Safety Learning Center</p>	<p>October 5th Final Reporting Session</p>

5 参加者からのフィードバック（抜粋）

■最終報告会

日本での滞在を終え、「クールジャパン」とは、敬意、多様性、革新、人・文化・伝統・技術の調和であると言えます。

日本の伝統価値と近代的アイディアのバランスの良さは、日本の成功の鍵と言えます。自国や自文化への愛、プライド、活力が満ちており、そういった日本人の気持ちから、このバランスは保たれてきたのではないのでしょうか。

またクールジャパンは、日本の社会、経済、環境あらゆる面に見ることができます。例えば忍者博物館では、規律と自制、誠実さと自分で考え行動することを学び、それら精神が日本の社会を作り上げてきたことがわかります。ホームステイでは、家族の一員のように受け入れてくださり、日本人のおもてなしの心を感じることができました。パナソニックセンターでは、高い技術力を環境に還元していることがわかり、日本のクールな技術が環境問題にも貢献されていることを学びました。大学生が学内で環境配慮への取り組みを行っている様には、日本人一人一人の意識の高さに感動しました。

自国に戻ったら、クールジャパンを推奨するために展示をしたり、南太平洋大学(USP)キャンパスマーケットデイで日本食を紹介したり、JENESYS2.0 同窓会やメディアを利用して宣伝活動をしていきたいと思います。また日本を見習い、喫煙を指定された場所でする、学内でのレジ袋ゼロキャンペーン活動とゴミ分別を実施する、時間を守る、ボランティアをする、などの活動を取り入れたいと考えています。

日本で経験し学んだことを、自国に持ち帰り生かしたいと強く思っています。

■参加者のアンケート（抜粋）

・天然資源や自国文化を守りつつ経済発展を遂げた、日本人の努力や貢献に感銘を受けました。エコな技術による社会発展や忍者という独自文化を活かした観光活性化など、見習うべきことが沢山発見できた。（フィジー）

・日本人という国民性に感動しました。日本人の振る舞い、信仰、活力、そして困難に立ち向かう姿は、国際社会においても大変意味あるものであると考えます。日本人の目的意識や他者を常に敬う気持ちは、日本を訪れる全ての人が学ぶものとなるでしょう。(フィジー)

・ホームステイでの経験は大変貴重でした。時間を守る習慣やリサイクルによる環境配慮を体験することができました。健康的な食事も大変興味深かったです。忍者、祭、神社、お寺、伝統衣装など、多くの日本文化に感動しました。(クック諸島)

・日本人の丁寧さ、尊敬の念、謙遜さに驚きました。ゴミ分別への意識の高さなどにより、環境はとても綺麗に保たれています。三重大学ではプラスチックのゴミ袋を失くすための活動が行われていました。日本で見聞き体験したことを自国の人々と共有したいと思いません。(サモア)

(了)